

科 目 名	数学科教育法Ⅲ				
配 当 学 年	3 年	必修・選択	選択	CAP制	対象外
授 業 の 種 類	講義	単 位 数	2 単 位	授業回数	15
授 業 担 当 者	今井 順一		単位認定責任者	今井 順一	
実務経験の有無	無				
実務経験のある教員名および授業の関連内容					
授業科目の概要	効果的な授業展開および授業改善のために、インストラクショナルデザインを基礎に学習教材開発の手法を学ぶ。さらに教材の開発手法をもとに、授業での利用を中心としたICT活用教材を作成する。また作成した教材を使った模擬授業の評価も行う。				
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. インストラクショナルデザインの概要を説明できる。</li> <li>2. 教材開発の手法を説明できる。</li> <li>3. 基本的なデジタル教材を作成することができる。</li> <li>4. 実際の授業を想定した基本的なデジタル教材を作成することができる。</li> <li>5. 作成したデジタル教材を用いた模擬授業を行うことができる。</li> </ol>				
学修成果評価項目(%)および評価方法	項目	割合	評価方法		
	基礎学力	%			
	専門知識	55 %	教材開発 (25)・プレゼンテーション (20)、レポート (10)		
	倫理観	10 %	教材開発 (5)・プレゼンテーション (5)		
	主体性	10 %	教材開発 (5)・プレゼンテーション (5)		
	論理性	10 %	教材開発 (5)・プレゼンテーション (5)		
	国際感覚	%			
	協調性	%			
	創造力	5 %	教材開発 (5)		
	責任感	10 %	教材開発 (5)、プレゼンテーション (5)		
授業の展開					
1.	インストラクショナルデザイン				
2.	教材の分析				
3.	教材の設計				
4.	教材の開発				
5.	教材の実施				
6.	教材の評価				
7.	教材の改善				
8.	教材開発実践①分析				
9.	教材開発実践②設計				
10.	教材開発実践③開発				
11.	教材開発実践④実践				
12.	教材開発実践⑤評価				
13.	模擬授業①授業実施				
14.	模擬授業②授業評価				
15.	授業デザイン・開発教材・模擬授業の評価とまとめ				
授業外学修について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教材開発のためのスキル獲得の予習・復習課題を提示する</li> <li>2. 学習指導案の作成を課す</li> </ol>				

教科書	数学の学び方・教え方（岩波新書）・遠山 啓 著・岩波書店 中学・高等学校学習指導要領解説数学編				
参考文献	必要に応じて授業時に適宜指示する				
試験等の実施	定期試験	その他の テスト	課題・ レポート	発表・プレゼンテ ーション	取組状況等
	×	×	○	○	×
成績評価の割合	0 %	0 %	50 %	50 %	0 %
成績評価の基準	本学の評価基準に基づき、成績評価を行う。 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69点～60点）、不可（59点～0点）				
試験等の実施、成績 評価の基準に関する 補足事項					

（数学科教育法Ⅲ）